

質問者



松本一二美 議員

問

子どもたちに
防犯ブザーを

公明党愛媛県本部女性と子ども委員会では「子どもたちに防犯ブザーを」の署名運動を展開し、松前町におきましても、集まった2,212名の署名簿を先日、白石町長に提出しました。

子ども連れ去り事件の防止に効果が期待されている携帯用防犯ブザーの貸与を実施していただきたい。

連れ去り事件は下校時に多発しており、学校から自宅に帰るまでは学校管理の責任だと思えます。

学校安全管理の徹底、警備体制の強化、通学路の見直し、児童・生徒や教師のために防犯訓練、研修の充実をお願いします。

答

小学校新一年生には、この春より貸与
答弁 赤星教育長

16年度1年生の数312の防犯ブザーを購入します。在校生については、各小学校・中学校に一定の数を貸与して使用してもらう予定です。

現在、小学生の9%、中学生の4%の児童・生徒はすでに持っています。

防犯教室、防犯訓練は実施しています。伊予署とも連携をして、教師の研修等、危機意識を持つよう各学校で実施しています。



問

子ども議会の実施を

子どもの時にこそ幅広い視線で「子ども議会」を体験してみることが、学校教育のひとつとして大事だと思えます。松前町の立派な庁舎、素敵な議場で見学も兼ねて「子ども議会」の実施を求めます。

答

前向きに検討
答弁 赤星教育長

子ども議会は、全国各地の市町村でさまざまな取り組みがされており、市町村や教育委員会の主要な事業として定着し、効果を上げている自治体もあります。

現場の強い要望があれば、学校、学校教育関係者、総務課等で話し合い実施を前向きに検討します。

問

寝たきりゼロを
目指して

現在高齢化が進み、医療費がかさむ現状です。お年寄りもいつまでも元気でいていただきたい。お年寄りが自分で歩いて参

加できる地域の公民館で、気軽に集まっておしゃべりをしたり、お茶を飲んだり、一緒に体操をすることが、ボケ防止や介護度が進むのを軽減することにつながると思います。

その集いの会を町の推進事業として取り組んでいただきたい。

答

保健センター等で
ハビリ教室など実施
答弁 白石町長

保健センターでは、心身機能が低下し寝たきりになったり、家に閉じこもりの傾向の強い方々を対象にした地域リハビリ教室を平成13年度から実施しています。

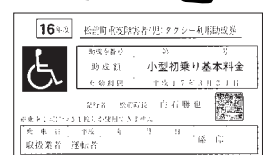
平成15年度は3つの地区公民館等で19回開催、延べ153名の方々に健康づくりのお手伝いをしました。

社会福祉協議会ではボランティアグループ活動の支援事業として、地域のボランティアグループが自主的に運営しているところもあります。

保健センターでは、地域からの要請があれば、保健師等が地域の集会場に向き健康支援を行っています。

問

重度障害者(児)
タクシー利用助成事業



多くの利用者から感謝されている障害者のための福祉事業ですが正しく使用されているか利用状況をお伺いします。

答

不正使用はない
と思う
答弁 忽那福祉課長

タクシー利用助成事業は、重度障害者(児)の方々がタクシー利用の際の、初乗り料金を助成しております。交通手段の確保や介護の負担を軽減し、社会参加の促進のための事業です。平成7年度から始め、現在6社のタクシー事業者と委託契約し、利用者の通院や外出時の負担の軽減に非常に役立っています。

不正使用はないと思えますが、助成券の適正な使用をタクシー事業者と利用者へ重ねてお願いします。